



古河市は、茨城県の最西端、関東平野のほぼ中央に位置し、西には利根、渡良瀬の大河が流れ、北西部には広大な渡良瀬遊水池が広がる自然豊かなまちです。現在は首都60km圏という恵まれた立地条件を生かし、茨城県西地域の中核都市として発展しています。歴史的には、古くは万葉集にも登場、河川交通の要所として、江戸時代には譜代大名の城下町、日光街道の宿場町として栄えてきました。足利氏とのつながりも深く、中世東国社会の政治文化において重要な位置を占めてきた古河公方の拠点として知られています。

古河公方の起こりは、1338年京都に幕府を開いた將軍足利尊氏が関東地方を治めるために子の基氏を鎌倉府の長官である鎌倉公方として派遣しましたが、その後、鎌倉

公方4代持氏が京都の將軍家と対立、1439年6代將軍義教と一戦を交え、その結果、鎌倉公方は破れ、持氏は自害させられました。その後、生き残った持氏の子成氏が許されて鎌倉公方に就任しました



古河公方ゆかりの徳源院跡

が、再び幕府に反旗を翻し、1455年鎌倉から古河の地に座を移したことにより、爾来120年余りにわたって古河公方と称し、東国一円の重要な位置を占めてきましたが、現在も公方ゆかりの社寺や史跡が残っており、特に古河公方足利氏の古河城の別館であった「公方館跡」や古河公方開基の「徳源院跡」一帯は、「古河総合公園」として、自然や史跡探訪の地となっており、市民に親しまれています。

■行事

- 8月上旬 古河花火大会
- 8月中旬 古河盆踊り大会
- 10月27日～11月23日 古河菊まつり
- 12月上旬 古河提灯竿もみまつり
- 1月中旬 古河七福神めぐり
- 3月下旬～4月上旬 古河桃まつり



2000本のハナモモが咲く古河総合公園